

Purpose

NIPPON PAINT GROUP わたしたちの存在意義

当社グループは2021年、創業140周年を迎えるに当たり、「Purpose」を策定しました。
各パートナー会社におけるそれぞれのミッション、ビジョン、バリューに基づく自律的な経営を尊重する一方、
グループ全体を貫く存在意義を示すものとしてPurposeを位置付け、
その共通の価値観のもとで世界各地の多様性豊かな構成員が強い絆で協働し、
「株主価値最大化(MSV)」の実現に向けて取り組んでいきます。

共存共栄の精神

わたしたちは常に誠実で公正であることを旨とし、
消費者、お客様、地域社会、従業員、取引先、政府など、
あらゆるステークホルダーへの責務を充足し、
ともに繁栄することを約束します。

サイエンス+
イマジネーションの力で、
わたしたちの
世界を豊かに。

サイエンス+ イマジネーション

わたしたちは科学や想像のもつ無限の力
により、この世界を守り、より豊かに
する、画期的な技術とイノベーションを
生んでいきます。

力強い パートナーシップ

ともに働く人々への尊敬、信頼、信任、責任が、
わたしたちの礎です。
そこから生まれる力強いパートナーシップが、
イノベーションと成長のもととなります。

Purposeの位置付け

Purposeは、日本ペイントグループ全体の「存在意義」を表しています。
国内外のパートナー各社が定める固有の
経営理念や価値観は、これまで通り運用
されます。

Purposeの意味

Purposeには「サイエンス(科学)とイマ
ジネーション(想像)の力で、私たちの生き
る世界を豊かにする」という想いが込めら
れています。私たちの強みである技術力
を生かして社会課題を解決し、私たち
の暮らす世界を持続可能で豊か
なものとするとともに、富の創
造に貢献していきます。

Business Philosophy(三つの指針)の意味

「三つの指針」は、日本ペイントグループが
Purposeに基づいて行動するための方針を表し
ています。

「共存共栄の精神」：日本ペイントグループが創業
時から掲げてきたものであり、「株主価値最大化
(MSV)」の前提としてのステークホルダーに対
する責務の充足を意味しています。

「力強いパートナーシップ」：日本ペイントグループ
のパートナー会社同士の絆に加え、提携企業や
研究機関などとの協創関係を表しています。お互
いを尊敬や信頼でつなぎ、英知を結集することが
成長の糧になることを意味しています。

「サイエンス+イマジネーション」：私たちの強み
である「技術」を科学的に高めるとともに、製品開発
やサービスの提供に不可欠な「想像」を働かせ、
新しいアイデアを「創造」し、イノベーションを生み
出すことを意味しています。

Purposeの策定プロセス

参加型アプローチのもと、CFO(当時)を
コーディネーターとして、国内外パートナ
ー会社の経営陣28人と筆頭独立社外取締
役からなるタスクフォースを結成し、グロー
バルチームが一体となって策定しました。

1 2020年5月にPurposeプロジェクト
を始動

2 グローバルチームへのインタビューや
フォーラムでのディスカッションにより、
素案を作成し、投票にて決定

3 2021年3月、新中期経営計画(2021-
2023年度)と併せて、日本ペイント
グループのPurposeを対外公表

人々の身近な生活を支える 社会基盤（インフラ）を“保護”

塗料は、あらゆるモノの表面をコーティングすることで社会インフラを保護し、世界中で人々の生活に「安心」「快適さ」「彩」を与えるなど、社会的役割が大きい存在です。当社グループは、日本で最も長い歴史を誇る総合塗料メーカーとして、革新的な製品やサービスの提供により新たな事業機会を創出するとともに、グローバルに社会課題を解決し、豊かな社会の形成に貢献していきます。

船舶

船底塗料で
船舶運航のCO₂を削減し、
地球温暖化防止に貢献



道路

遮熱塗料でアスファルト面の
蓄熱を抑え、過ごしやすい街へ



構造物

(ビル・スタジアムなど)

耐火塗料でデザイン性を
保ちながら、火災時にビルを守る



自動販売機

表面に塗られた粉体塗料は、
大気汚染の原因物質の一つとされる
揮発性有機化合物(VOC)を100%削減し、
環境へ貢献



住宅(内装)

豊富なカラーで自分らしい空間の
実現だけでなく、抗ウイルス・抗菌・
防カビなどの機能で人々を守る



自動車

0.1ミリの塗膜で
美しい色つやを表現し、
紫外線劣化やサビ、キズから車を守る



高架道路

コンクリート構造物を
保護・長寿命化し、
剥落を防ぐ



ESGステートメント

日本ペイントホールディングスグループは、当社が活動するあらゆる地域における持続可能な発展を支え、推進するために事業活動を行うことを目指します。そして、その活動は、経済・社会・環境という3つの要素を、バランスよく一体となった形で、実施します。

塗料とコーティングを通じて、全ての人々に豊かな彩、快適さおよび安心を提供することは、創業以来の私たちの変わらぬ使命です。

グローバルな持続可能性に関する社会課題の解決は、将来の世代に向けた私たちの責務であり、継続的な成長と成功への原動力です。

私たちは、これらを達成するために、次のことを行います。

- 革新的な製品やサービス、新たな事業機会を通じて、持続可能性の強化に資するため、バリューチェーンのあらゆる場面で技術による貢献を追求します。
- ステークホルダーの期待に応えるため、ステークホルダーとの対話を重視し、共に活動することで、共有する持続可能性への約束、責任や課題に応えます。
- 透明性・客観性・公正性を備えた経営を確保し、当社が活動する全ての社会からの信頼を得るために、実効性のあるガバナンスの枠組みを確立します。
- 当社の多様な従業員及び関係会社の職員が、それぞれの可能性を最大限に発揮し、革新的で持続可能な価値を創造することを尊重し、支援し、且つ、推進します。
- 持続可能性改善計画を推し進めることは、新たな事業機会や株主価値の最大化*につながることを理解し、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」(SDGs)を支持します。

*「株主価値の最大化」は、「株主第一主義」とは一線を画し、お客様・従業員・取引先・社会などへの責務を果たすことを前提とした上で、残存する「株主価値」を最大化することを意味します。

今後もグローバルで持続的な成長が期待できる世界の塗料市場

世界の塗料市場は、人口増加や経済発展など需要の高まりにより、着実な成長を遂げてきました。

今後も、中国をはじめとするアジア地域の経済成長に伴い都市化が進展し、住宅やビルなどのインフラ整備を支える汎用（建築用）塗料分野を中心として、中長期にわたり持続的な成長が期待されています。

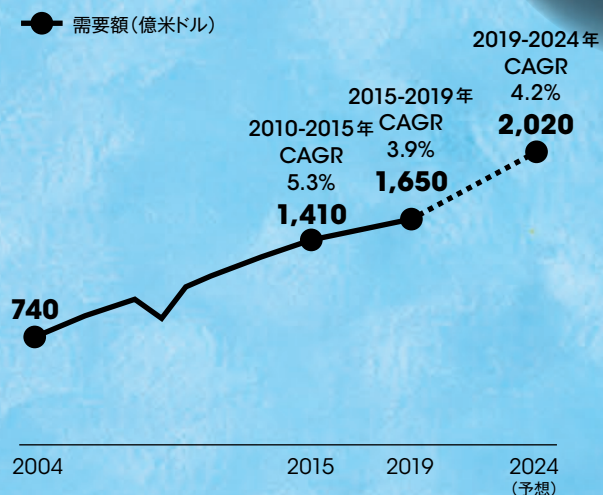
塗料市場の成長率

2019-2024年の
年平均成長率（CAGR）



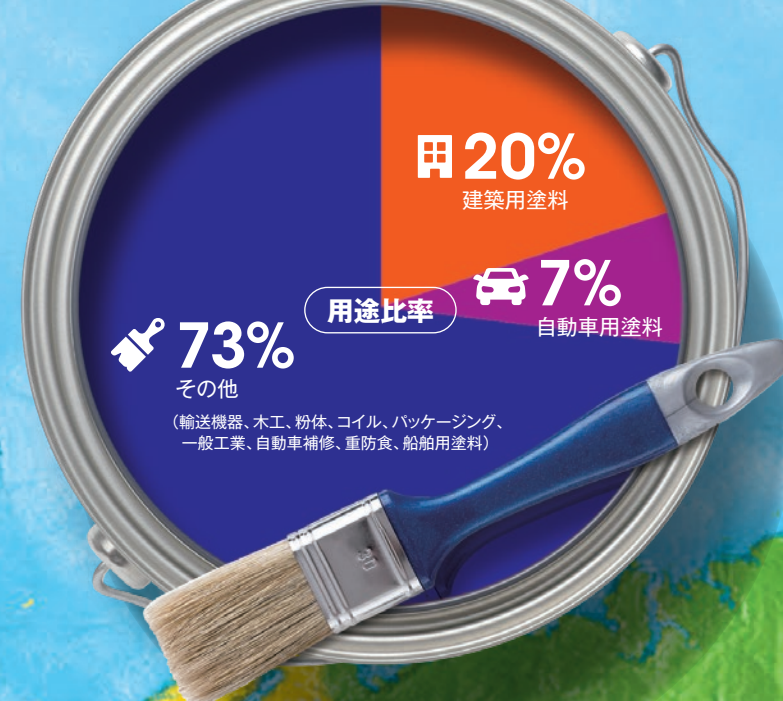
※ 各国・地域の合計値は2019年の市場規模予想

世界の塗料需要推移

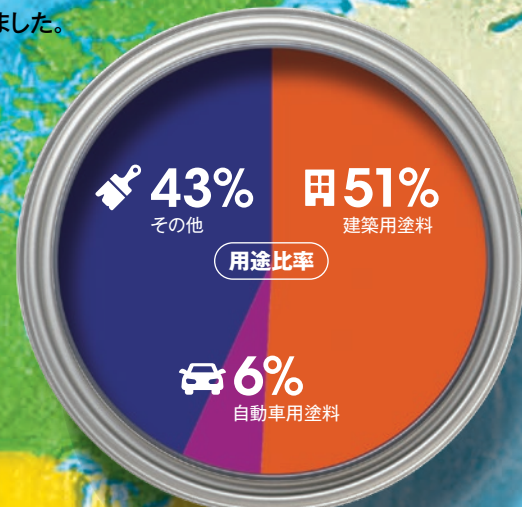


※ P.05-06掲載データの出所：
ACA-published Global Market Analysis for the Paint & Coatings Industry (2019 -2024). <https://paint.org/market>

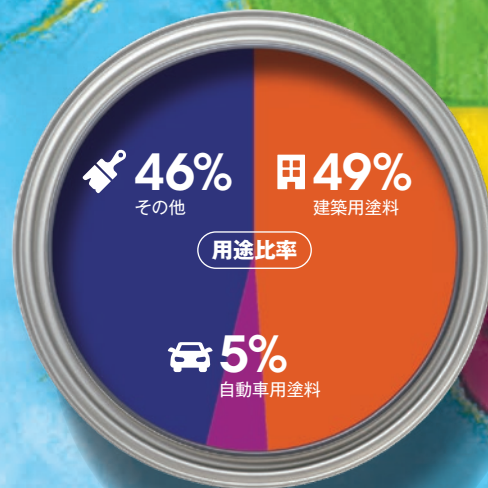
※ 当社IRサイトの「世界の塗料市場」も併せて参照ください。
<https://www.nipponpaint-holdings.com/ir/results/market/>



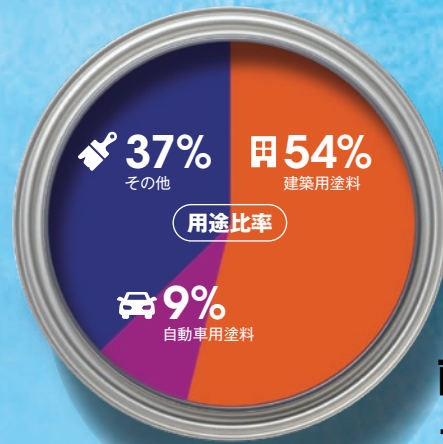
中国
467 億米ドル
5.3% ↑



欧州
359 億米ドル
1.9% ↑



北米
284 億米ドル
3.7% ↑



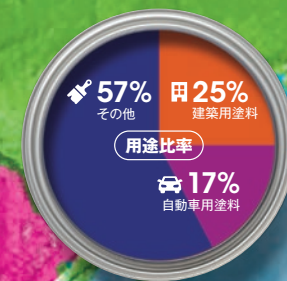
南米
125 億米ドル
3.5% ↑



アフリカ
99 億米ドル
4.1% ↑



その他アジア
72 億米ドル
5.7% ↑



日本
58 億米ドル
0.2% ↑

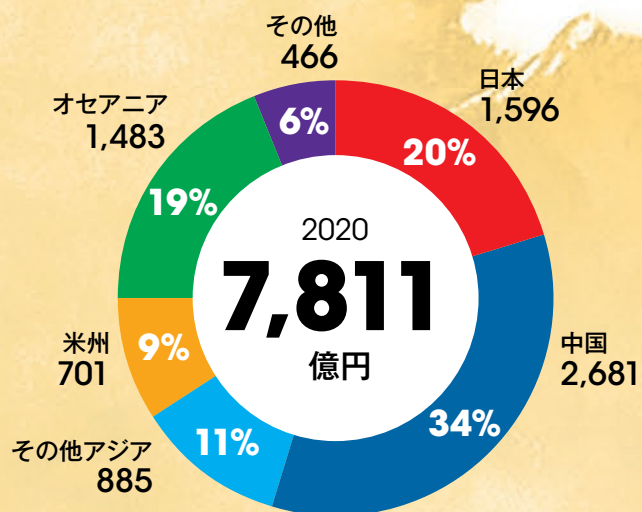


オセアニア
12 億米ドル
2.6% ↑

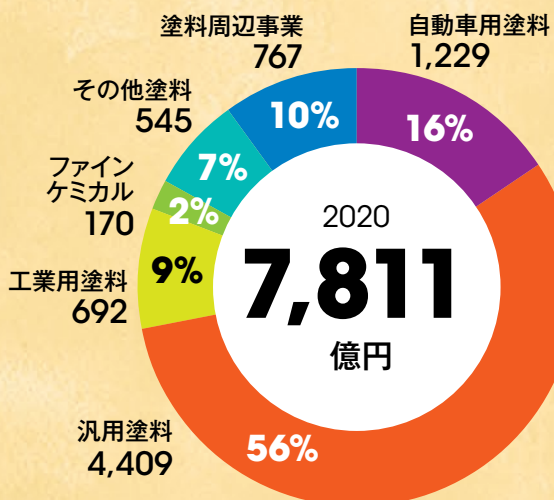
世界各地の旺盛な塗料需要に対応し、グローバルで幅広く事業を展開

当社グループは、グローバルで増大する旺盛な塗料需要に応えるべく、2014年以降、アジア合併事業の連結化や海外M&Aによるグローバル化の加速により、地域・事業ポートフォリオをダイナミックに変革してきました。今後も「アジア×汎用塗料」を軸に、各地域・事業でプレゼンスを拡大していきます。

地域別売上収益構成比



事業別売上収益構成比



米州

1980年代以降、日系自動車メーカーの北米進出が加速したことに伴い、米国・カナダ・メキシコに拠点を設立するなど、自動車用事業を拡大。近年では旺盛な住宅需要を背景に汎用分野は着実に事業を拡大しています。

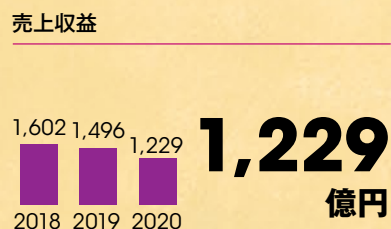
その他

今後も高い成長が期待されるトルコ汎用塗料市場において、トッププレイヤーのポジションを確立するなど、トルコで汎用やETICS(断熱材)などを事業拡大。また、欧州で自動車用事業を強化し、今後の成長に向けて改革を推進しています。



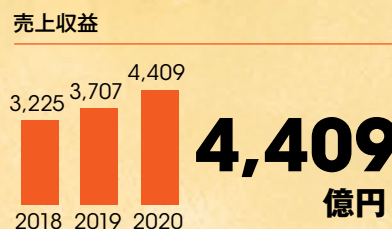
自動車用塗料

自動車のボディ用塗料から内装などの部品用塗料まで、高品質・高性能な製品群を取りそろえ、グローバルに事業を展開しています。



汎用塗料

住宅、ビル、橋梁、プラントなどの塗装に使用される塗料を提供。高耐候、高意匠、抗ウイルス・抗菌の高機能、遮熱や水性化による環境配慮型製品を展開し、最新のコーティング技術で社会に貢献しています。



工業用塗料

建築資材、住宅外装材、家電、オフィス家具、建設・農業機械、鉄道など、幅広い工業分野に「プレコート用塗料」「ポストコート用塗料」や「水性塗料」「粉体塗料」などの環境配慮型製品を提供。グローバルに事業領域を広げています。



ファインケミカル

幅広い産業に向けた塗装下地や機能性コーティングなどの表面処理分野、および電子材料や自然エネルギーなど新素材に適したコーティング材料分野において先進的な製品とサービスを提供し、グローバルな社会課題の解決に貢献しています。



その他塗料

造船・海運業界の世界的な環境規制に対応する超低燃費型船底防汚塗料など先進的な塗料を開発しています。また、新車塗装で培った最先端技術を応用し、自動車補修に適し、かつ環境負荷の低減につながる塗料を提供しています。



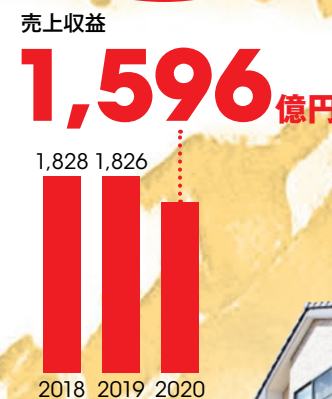
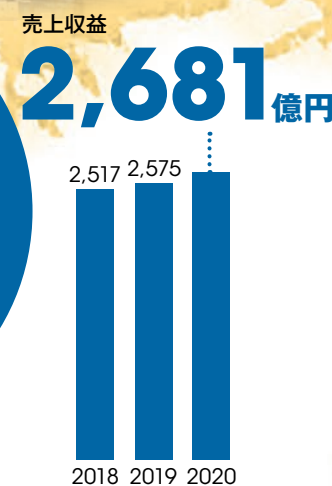
塗料周辺事業

気密性や防水性などの機能を発揮する密封剤や接着剤、断熱材などの建設用材料に加え、ガレージドアや住設用製品を提供しています。



日本

自動車用、汎用、工業用、ファインケミカルなどの多様な事業を展開。優れた技術力とブランド力、顧客基盤を持つマーケットリーダーとして、日本の塗料業界を先導しています。

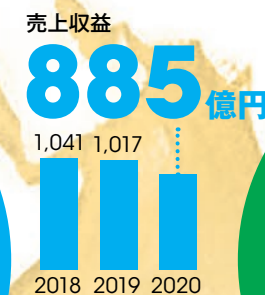


中国

世界最大の市場である中国へ1992年に進出。強固なブランド力と販売網を強みに、汎用市場でシェアNo.1の地位を確立。自動車用や工業用にも幅広く展開。近年は建物外装向けのProject事業が大きく拡大し、持続的成長に貢献しています。

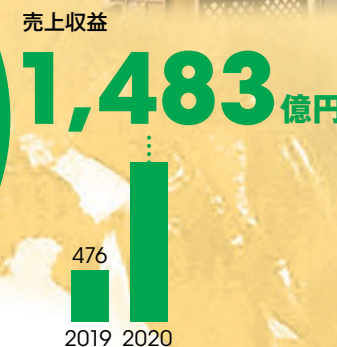
その他アジア

シンガポールやマレーシア、インドネシアなど成長余力のある東南アジア地域を中心に事業を展開。4カ国で市場シェアNo.1を誇る汎用に加え、自動車用や塗料周辺分野で事業を拡大しています。



オセアニア

安定成長が見込まれるオセアニアにおいて、No.1の市場シェアと認知度を誇るマーケットリーダーのポジションを確保。汎用、塗料周辺事業を中心に市場成長を上回る成長を図っています。



Chapter 1

イントロダクション

- 01 Purpose わたしたちの存在意義
- 03 塗料が果たす社会的役割
- 05 世界の塗料市場
- 07 日本ペイントグループのグローバル事業展開
- 09 目次・編集方針

Chapter 2

トップメッセージ

- 11 共同社長就任に当たって
- 13 若月共同社長メッセージ
- 17 ウィー共同社長メッセージ
- 21 株主価値最大化(MSV)／力強いパートナーシップ

資本・ビジネスモデル

- 25 日本ペイントグループの歩み
- 27 日本ペイントグループの経営資源
- 29 大株主ウットラムグループとのパートナーシップ
- 33 日本ペイントグループの価値創造モデル
- 35 価値創造の実践例
- 37 価値創造の成果
- 37 財務ハイライト
- 39 非財務ハイライト
- 40 日本ペイントグループの4つの強み
- 41 マテリアリティ／リスクと機会

Chapter 3

中長期の成長戦略

- 47 中期経営計画の振り返り
- 49 新中期経営計画(2021-2023年度)の全体像
- 53 地域・事業戦略
- 53 Nippon Paint China(中国)
- 59 PT Nipsea Paint and Chemicals(インドネシア)
- 61 Nippon Paint Singapore(シンガポール)
- 63 Nippon Paint Malaysia(マレーシア)
- 65 DuluxGroup(豪州)
- 67 Betek Boya(トルコ)
- 69 Dunn-Edwards(米国)
- 71 日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社(NPAC)
- 73 日本ペイント株式会社(NPTU)
- 74 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社(NPIU)
- 75 日本ペイント・サーフケミカルズ株式会社(NPSU)
- 76 日本ペイントマリン株式会社(NPMC)
- 77 サステナビリティ戦略
- 79 M&A 戦略
- 81 財務戦略

Chapter 4

サステナビリティ情報

- ガバナンス
- 85 独立社外取締役によるガバナンス対談
- 89 取締役会の議論
- 91 取締役・執行役
- 93 コーポレート・ガバナンスの体制と取り組み
- 環境
- 105 気候変動
- 108 資源と汚染
- 社会
- 111 ダイバーシティ&インクルージョン
- 114 労働安全衛生
- 115 コミュニティとともに成長
- 116 社会課題を解決するイノベーション創出

Chapter 5

財務・企業情報

- 119 11年間の主要財務・非財務データ
- 121 11年間のセグメント別データ
- 123 2020年度経営成績の分析
- 127 主要ブランド一覧
- 128 企業・株式・格付情報



「日本ペイントホールディングス 統合報告書 2021」編集方針

2021年度版では、グローバルな塗料市場の持続的な成長をベースに、140年の歴史を通じて獲得・蓄積してきた経営資源・強みを生かし、「新中期経営計画(2021-2023年度)」でさらなる飛躍を目指す中長期の成長ストーリーについてご説明いたします。

グループ共通の存在意義を示す“Purpose”のもと、世界各地の多様性豊かな構成員が強い絆で協働し、お客様のニーズやさまざまな社会課題にお応えする新たな製品・サービスの創出に尽力しながら、「株主価値最大化(MSV)」の実現を目指す姿を、分かりやすくお伝えします。

編集に当たっては、Value Reporting Foundationの「統合報告フレームワーク」「SASBスタンダード」、経済産業省の「価値協創ガイダンス」などを参照しています。

なお、本統合報告書は監査法人による監査を受けておりません。

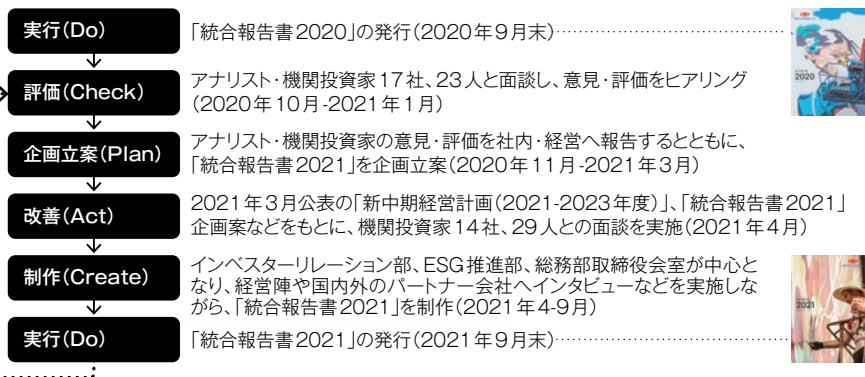
2020年度業績および業績予想値について

2021年8月10日に公表した当社連結子会社の株式譲渡契約締結により対象会社を非継続事業に分類しましたが、本資料の2020年度業績は、遡及修正前の値を掲載しています。また、本資料に掲載している業績予想値は、2021年2月10日発表の決算公表値、2021年3月5日発表の「新中計経営計画」公表値を前提としています。

将来の見通しに関する注意事項

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績などは、これらと異なる可能性があります。万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても、当社および情報提供者は一切責任を負わないことをご承知おください。

統合報告書の制作プロセス



報告対象範囲など

対象期間: 2020年1月1日～2020年12月31日(一部に2021年1月以降の活動内容なども含みます。)
対象組織: 日本ペイントホールディングス(株)および国内外の連結子会社
会計基準: 別途記載がない限り、2017年度以前は日本基準、2018年度以降は国際会計基準(IFRS)に準拠しています。

発行時期

2021年9月発行(年に1度発行)
統合報告書に関するお問い合わせ
インベスターリレーション部
TEL: 050-3131-7419
E-mail: ir_kouhou@nipponpaint.jp